

# 可児市を守る 技の競演

5月30日、消防団員の消火技術の向上と士気の高揚を図る目的で可児市消防操法大会が開催されました。市役所駐車場で行われた大会は、出場隊員の気迫がふれ、団員や家族、一般見学者ら多くの声援や拍手に包まれました。

## 消防操法とは

可児市消防団は、市民の皆さんの安全・安心を守っています。消防操法とは、消防団の任務の一つである「火災の消火」を想定した、器具の適切な操作や

規律ある動作訓練のことを指します。

火災発生時に迅速・適切な消火活動を行うだけでなく、火災現場において、自身の安全を確保するためにも必要な技術を身に付けます。

## 大会の結果



第1線放水の様子

### 個人の部（優秀賞）

氏名(敬称略)	分団・部名
指揮者 岡田 博之	第3分団第2部
1番員 永江 陽介	第3分団第1部
2番員 西口 哲矢	第3分団第2部
3番員 大澤 幸司	第3分団第2部
4番員 土田 智樹	第3分団第2部

### 団体の部（敢闘賞以上）

成績	分団・部名(地区)
優勝	第3分団第2部(春里東南部)
第2位	第3分団第1部(春里北西部)
第3位	第1分団第1部(広見西部)
第4位	第3分団第3部(帷子西部)
第5位	第2分団第3部(川合)
第6位	第1分団第2部(広見東部)
敢闘賞	第4分団第4部(兼山)
	第4分団第2部(平牧北部)

# 出場隊員の役割

## 2番員

第1線では2本のホースを伸ばし、伝令役として走ります。第2線では、火点に放水します。



最初にホースを伸ばす2番員

## 1番員

真っ先に火点に向かって走り、準備を整えて放水します。



一番早く火点に向かう1番員

防火水槽から水をくみ、火点(的)に向かって2線放水(ホースを各線3本ずつなぎ、2経路から水を出すこと)し、それぞれの的を倒すまでの時間と、各隊員の動作の節度を競います。

## 3番員

4番員と共に吸管を水槽に投入し、火点でトビロを構えます。第2線では、2本のホースを伸ばし、伝令役として走ります。



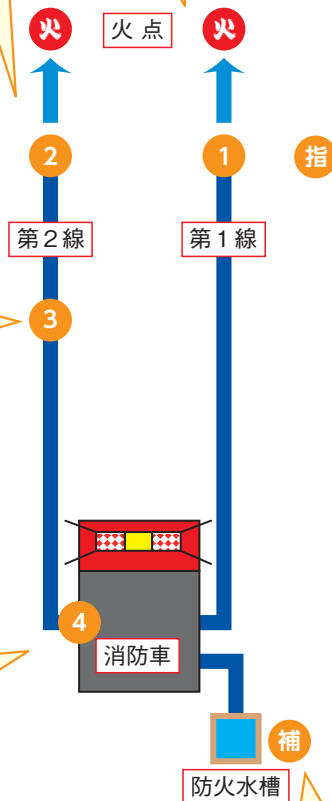
3番員が吸管を伸ばす

## 4番員

運転手として消防車を操作した後、吸送水機器を操作し水を送ります。



放水の水圧を調節する4番員



## 指揮者

操作の指示をするなど、消火活動全般の指揮をとります。



隊員に号令を掛ける指揮者(右)

## 補助員

吸管が浮き上がらないよう、押さえて水をくむための補助を行います。



吸管を押さえる補助員



## 第3分団第2部 指揮者 岡田 博之さん

(団体の部 優勝、個人の部 優秀賞)

第3分団第2部は、2年連続・通算8度目の優勝となりました。先輩が築いてきた伝統のある部で、私が団員として出場した過去2回は、どちらも不本意な結果に終わり、とても悔しく、申し訳ない気持ちを持っていました。

班長という立場で迎えた今回は、指揮者として任命され、出場隊員や団員の心身に気を配ると同時に、チームとして一致団結できるよう連日訓練をしてきました。

その結果、とても大きなプレッシャーの中、最高の結果を残すことができました。とても嬉しく思うとともに、支えてくれた皆さん、自分についてきてくれた部のみんなに感謝しています。

優勝することができたのも、支えてくれた家族、応援いただいた自治会や自衛消防隊、消防団OBの先輩をはじめとした地域の皆さん、また指導してく

ださった消防署職員の皆さん、切磋琢磨した可児市消防団の仲間、温かい声援をいただいた多くの皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

今後は、この経験を生かして地域住民の生命財産を守るべく精進し、消防団活動を通じて地域の皆さんに恩返しをしていきたいと思ひます。



優勝した春里東南部の団員の皆さん